

# コロナ禍の中での 見守りのカタチ

## ～敬老事業を活かした見守り活動～

石井町、東端町、城ヶ入町では、町内会や町内福祉委員会の役員・福祉委員が敬老事業対象者のお宅を一軒一軒訪問し、和泉町、根崎町では、対象者に町内会事務所にお越しいただき、お祝い品をお渡ししました。

お祝い品を渡す際には、体調の変化や困り事がないかなど近況をお伺いし、日ごろの見守り活動につながる情報の収集と共有を行いました。

また、明祥中学校区の4町（和泉町、東端町、根崎町、城ヶ入町）では、敬老祝い品に、明祥中学校の生徒さんからの心のこもったお祝いメッセージが添えられ、大変喜ばれました。



【敬老祝い品に添えて】

他にも、「困ったときの連絡先」として町内会、民生委員、地域包括支援センター、地区社協の電話番号等載せたカードを入れ、相談窓口を周知し、気軽に相談してもらえる工夫をしました。

「困ったときの連絡先」カードは明祥地区の各町内会事務所にも設置しています。

今回ご紹介した取り組みは、従前の集合形式の敬老会には参加しない人もいたため、敬老祝い品の配付方法を工夫したことでより多くの方の状況確認ができ、効果的な活動となりました。